

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ  
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！  
夢と誇りをもって



2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

第2560地区ガバナー 高橋 秀樹

高田ロータリー会長 高橋 正彦

幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第 27 回例会 3 月 10 日(金)

No.27

会長挨拶

●高橋正彦



皆さんこんにちは。

先週の3クラブ合同例会におおくのみなさんの参加をいただきまして、大変ありがとうございました。みなさん楽しんでいただけましたでしょうか。

暖かい日がここ数日続いていますが、花粉症で悩んでいる方が多くみられるようです。国民のおおよそ42.5%が花粉症に罹っていると推定されています。とりわけ、スギの花粉による花粉症の患者が多くスギ花粉症の有病率は38.8%と増加傾向にあるようです。

花粉症は季節性アレルギー性疾患ですから、花粉の種類ごとに一年に数回、花粉症にかかる人も多いようです。

今まで花粉症にかかっていないのに、急に花粉症の症状がでてきたという方がおられますが、よく花粉が蓄積されて症状が出てきたと言われますが、そうではなくアレルギー疾患ですからストレス・寝不足等体調不良により発症すると言われてしています。

花粉症は、重症でも生命に関わることはありませんが、花粉症と食物アレルギーが合わさった口腔アレルギー症候群では、まれにアナフィラキシー反応が生じる場合があるようです。

花粉症の治療薬が多く出ていますが、個人で判断しないで症状が軽いうちに医療機関に相談ください。

本日の卓話は、県立吉川高等特別支援学校長の内山徹様です。演題は、特別支援学校卒業生の支援についてです。ご清聴願います。

出席報告

出席率 97.83%

メイクアップ

高坂光一君：3/8 上越教育大学国際交流のつどい

ニコニコBOX紹介

S A A：先週の3クラブ合同例会に多くの会員に参加いただきありがとうございました。

## セレモニー



遠藤正義君  
株式会社岩の原葡萄園  
代表取締役社長

## 幹事報告

配布物：会報No.26

回覧物：ガバナー月信3月号、グローバル奨学生  
竹下さん近況報告、高田駐屯地会報妙高1号、  
上越教育大学学園だよりJUEN春号

## 委員会報告

3月の会員お誕生日 各お祝い



お誕生日お祝い

ご結婚記念日お祝い

## 卓話

### 「特別支援学校卒業生の支援について」



新潟県立吉川高等特別支援学校 校長 内山 徹 様

特別支援学校高等部の生徒の約4割は、社会的自立を目指し企業等への就労を希望している。しかし、現状は当県全体で企業等への就労割合は、3割未満という状況が続いている。当校はほぼ全生徒が就労を希望しており、平成25年度第1回卒業生から就労割合は8割前後であったが、ここ数年は著しく低下してきた。その要因は、中学校特別支援学級から高等学校への進学する生徒の増加や社会情勢の激変などによる影響が考えられる。

当校では、一人でも多くの就労希望が実現するように、「1. 就労の力を高める校内実習・現場実習等の改善」「2. 企業等への理解啓発と実習受け入れ先の開拓」「3. 特別支援教育の推移を図る中学校・高等学校の訪問」に取り組んでいる。その成果は数年後に現れると考えるが、生徒を雇用する企業等のご理解とご協力をいただかなければ困難である。個々の特性を生かした業務分担（業務の切り出し）、人的・物的環境整備による能力の活用などを行えば、特別支援学校の卒業生は十分な戦力となり得る。さらに、雇用側には従業員の親和性や協調性が高まり、誰もが働きやすい職場環境となるなど、二次的なメリットが期待できる。

社会的自立を企業等への就労に限定せず、特性を生かしICTを活用した職種での自立を目指すなど多様な可能性を探っていくが、引き続き企業等のご理解ご支援をお願いしたい。